

21世紀の新しいまちづくり 新鎌ヶ谷地区

新鎌ヶ谷地区は新しい鎌ヶ谷の拠点として
21世紀に創造されるまちづくりです

まちづくりの基本理念

鉄道交通の拠点として、人々のにぎわいのある商業・業務・文化等諸機能の集積を図り、緑や環境にも配慮した、快適性、安全性、利便性などを備えた拠点づくりをめざします。



街並み

商業と住宅が調和した都市空間を創造し、各建物の調和のとれた街並みを形成します。

安全・安心

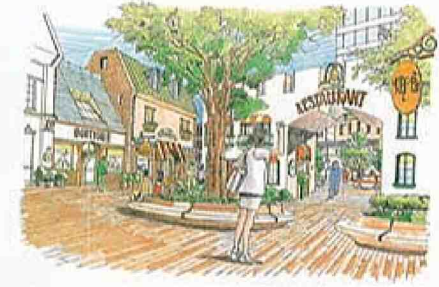
バリアフリーへの取り組みや、都市防災に配慮した安全で快適な街をめざします。

歩行者空間

人と車、人と自転車の共存を図った人間優先の空間づくり、「みち」と「ひろば」のネットワークによる回遊性のあるまちづくりをめざします。

環境との共生

水と緑による潤いのある街、また、自然環境への負担を減らしたまちづくりをめざし、地区内には緑いっぱい公園が5か所に配置されます。



左側：公園地、開成郡田沼、新成成校がクロス、千葉東部エリアの副都心として期待される新鎌ヶ谷駅周辺。



※このイラストは、将来の街づくりのイメージを表現して描いたイメージであり、実際とは異なる場合があります。ご了承ください。詳細情報はお問い合わせください。